

次代を担う2270人



新学群第1期生が入学

2007年度入学式は学類・専門学群が4月9日午前10時から、大学院は午後2時15分から、学生会館講堂で行われる。長年の課題となっていた学群改組を行った今年、2270人の学群新入生が、本学の新しい歴史の第一歩を刻む。大学院は2319人の新入生を迎える。

学群新入生は9-11日に向け、また大学院新入生は9日に新入生オリエンテーションを受ける。

(5-9面に学群・専門学群の入学者名簿)



第260号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 中村紀一

T E L : 029(853)2040・6699
E-mail
shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

総合科目 他学類教員24科目で協力
アスベスト工事 法改正に伴い継続へ
副学長インタビュー 腰塚水林両氏に聞く
Student Plaza 1D棟に新設
冬季欧州柔道 3人優勝 世界へ弾み
宿舎入棟 今年度も暗証番号制で

19 16 3 3 2 2

つくばMAP 10,11
抜き出せる大学周辺の地図

特集 12,13
陰に、日なたに—
学生生活を支える裏方たち



大学会館リニューアル 本学の新たな名所に 学術や体育の功績を展示

来校者が立ち寄る名所となることが目指して、大学会館のリニューアルが進められている。完成は6月末の予定だ。

リニューアルは、昨年9月に「大学会館エリアの整備に関するワーキンググループ」(リーダー：吉武博通副学長)が設置され、計画が進められてきた。

リニューアルの目玉となるのは大学会館展示室(仮称)だ。これまで置かれていた「朝永記念室」と「白川英樹名誉教授室」を集約し、江崎玲於奈博士のコーナーを新設。それぞれノーベル物理学賞と、ノーベル化学賞を受賞した功績を紹介する。体育スポーツ史料展示コーナーでは、本学関係者がオリンピックで獲得したトロフィーなどを展示する。石井コレクション展

なかつた。人文学類と比較文化学類など、分野が近い学類が異なる学群に属するなどの問題もあった。今後、学問分野の近い学類同士がまとまることにより、学類同士の協力が進めばいいと思っている。

—新設される学群・学

改革元年

学群改組を追う

本学は今年度、長年の課題となっていた学群改組を行った。時代が変わり、大学に求められる教育も変化していく中で、本学は従来のナンバースタイルをどう総括し、新体制の下でのような教育を行っていくのか。岩崎洋一学長(写真)に話を聞いた。(本紙・齋藤太二比較文化学類)

—新体制移行後初の新入生を迎えて一言。

今回の学群改組は、大学以来の一大改革だった。一連の改革に取り組んだ教職員に感謝したい。これを機にさらに学群教育を充実させていきたい。

長インタビュー 専門性と学際性両立へ 志願者数増加に手応え

—学長就任から現在にかけて、学群改組に関してどう考えてきたか。

ポイントは、本学らしさをいかに発揮するかということだ。学群組織の良いところを生かしていくとともに、社会のニーズに合った組織作りが必要であると考えていた。

学群改組は受験生に好意的な印象を持たれたように思われる。

文理融合を図るという理念は良かった。しかし実際には、各学類が独自性を出していく中で、学群内での学類間協力がなかなかうまくいかなかった。人文学類と比較文化学類など、分野が近い学類が異なる学群に属するなどの問題もあった。今後、学問分野の近い学類同士がまとまることにより、学類同士の協力が進めばいいと思っている。

—新設される学群・学

—専門性と学際性、一見相反するこの二つの概念を今後どう両立させていくか。

例えば国際総合学類では、社会科学分野だけでなく、システム工学分野も教える。他にも人文地理分野を教える地球学類や、文系から理系までの学類を含む情報学群など、その影響を探る。



岩崎洋一学長

筑波の孔

米国のミドルベリリー大学史学部では今年1月、学生のレポートや試験で「ウィキペディア」の引用を禁止した。昨年12月、日本史の学期末試験で、数人が鳥原の乱」に関して同じ間違いを記述。不思議に思った教授が間違いをたどったところ、ウィキペディアの誤った記述に行き着いた▼ウィキペディアは「信頼される質量も史上最大の、フリーな百科事典」を目指し01年に米国で作られた。オンライン上の利用者なら誰でも書き込みや修正ができる。出典の明記義務化や反論掲載など記事の中立性を保つ工夫がされているが、情報の信頼性については完全ではない▼友人同士でも、試験の日時や範囲など大事な情報は間違えて伝えないよう気を遣うものだ。レポートや試験で論述するときも情報源の信頼性に責任を持たなければならない▼ウェブは手軽に幅広い関心を持つが、頼りすぎはどうか。コピー&ペーストを防ぐためにレポートを手書きに限定する教員もいる。学生は面倒だと漏らす自分で考える意義は大きい▼章編三絶という故事成語がある。とじていた糸が3回切れるほど書物を読むという意味だ。文献をあまり、読み込んだ昔の学者は偉大に感じられる。新入生は、240万冊以上の蔵書を持つ附属図書館にぜひ足を運んでみるこい。

―就任にあたっての抱負を。― 学生とのふれあいの数では、他の教員に負けていないという自信がある。学生生活と教育の2分野の距離を縮め、それぞれの担当副学長の二人三脚で学生サービスの向上に当たりたい。

―当面する課題は。― 2学期に学生部を1D棟に移転させる。学生の行き来が多いところであり、学習や生活を振り返らせ、期待される。職員には、今後の計画立案を通じて高い意識で学生の対応に当てることを求めたい。

副学長インタビュー

4月1日付で学生生活担当副学長に腰塚武志副学長(組織・人事担当)が、研究担当副学長に水林博教授(物分)が就任した。両副学長に、今後の抱負や課題などを聞いた。

―就任にあたっての抱負を。― 本学は全国の中でも大規模な大学だが、旧帝大などと比べて外部資金の獲得額は少ない。学系長や研究科長として幅広い分野の連携を考えた経験を活かして、研究者が新領域に打ち出せるお手伝いしたいと考えている。

腰塚副学長 TWINsの役割拡大を



―課外活動団体支援については。― 課外活動の重要性は認識している。大学時代に得られる友人は、社会人のそれと違って、しつらみ抜きで付き合える一生の宝物だ。課外活動は、そんな友人を得られる上に、人間形成上も有意義な場所と時間を提供してくれる。

―キャリア支援にも取り組むつもりだ。― キャリア支援にも取り組むつもりだ。学生に自分の生利用が盛んになることが期待される。職員には、今後の計画立案を通じて高い意識で学生の対応に当てることを求めたい。

水林副学長 チーム力で資金獲得へ



―外部資金の獲得のためには何が重要か。― 本学は研究者個人では頑張っているが、チーム力が弱い。21世紀COEでは4件しか採択されなかった。競争的資金の多くは、チームを作って学域開拓やプロジェクトの提案を行い、獲得するものだ。現在大学では数百人規模の研究科単位で動いている。研究科長には、リーダーシップを発揮して、分野間の連携を実現してもらいたい。

―大学としての研究・教養・鈴木真理(社会学類)― 大学としての研究・教養・鈴木真理(社会学類)―

1D棟に新設 「Student Plaza」 キャリア教育の充実へ

―学生と教職員のコミュニケーションの場として「Student Plaza」を1D棟に設置する。― 学生生活支援室では、これまで分散していた窓口を一本化する。インフォメーションセンターとなるように、学生生活での悩みの相談に乗るとい。

―「Student Plaza」は、1D棟2階に設置される。― 「Student Plaza」は、1D棟2階に設置される。2、3階に設置されるそれぞれの組織で検討している。

新任人事

- 【副学長】学生生活担当 腰塚武志(理事) 組織・人事担当 波多野澄雄(国際) 研究担当 水林博(物分) 学域開拓担当 山田信博(臨)
- 【学長特別補佐】宇川彰(物理) 井上勲(構造生物)
- 【博士課程研究科】人文社会学類研究科 科長 坪井

組織の略称

- 【学群・専門学群】 人文社会学類、自然学類(自然)、比較文化学類(比文)、日本語・日本文学学類(日語)、人間学類(人間)、生物学類(生物)、生物資源学類(生資)、社会学類(社)、国際総合学類(国際)、情報学類(情報)、工学システム学類(工系)、工学基礎学類(工基)、医学専門学群(医学)、医学類(医学)、看護・医療学群(看護)、体育専門学群(体育)、芸術専門学群(芸術)
- 【新設学群】 教育学類(教育)、心理学類(心理)、障害学類(障害)、地球学類(地球)、数学類(数学)、物理学類(物理)、化学類(化学)、応用理工学類(応用理工)、情報科学類(情報)、情報メディア創成学類(情報創成)、知識情報・図書館学類(知識情報)、看護学類(看護)、医療科学類(医療)
- 【博士課程】 数理学類(数理学)、物理学類(物理学)、化学類(化学)、工学システム学類(工学)、工学基礎学類(工基)、医学専門学群(医学)、医学類(医学)、看護・医療学群(看護)、体育専門学群(体育)、芸術専門学群(芸術)

建物の名称

- 2学群G棟 2G棟、第2学群H棟 2H棟、第3学群A棟 3A棟、第3学群B棟 3B棟、第3学群C棟 3C棟、第3学群D棟 3D棟、第3学群E棟 3E棟、第3学群F棟 3F棟、第3学群G棟 3G棟、第3学群H棟 3H棟、第3学群I棟 3I棟、第3学群J棟 3J棟、第3学群K棟 3K棟、第3学群L棟 3L棟、第3学群M棟 3M棟、第3学群N棟 3N棟、第3学群O棟 3O棟、第3学群P棟 3P棟、第3学群Q棟 3Q棟、第3学群R棟 3R棟、第3学群S棟 3S棟、第3学群T棟 3T棟、第3学群U棟 3U棟、第3学群V棟 3V棟、第3学群W棟 3W棟、第3学群X棟 3X棟、第3学群Y棟 3Y棟、第3学群Z棟 3Z棟

退職教員・OGに聞く 筑波大学新聞って どんなところ?

いざ潜在能力開花の場へ

天野勝文・元本紙編集委員長



「いまから21年前」として手にする新入生諸君が生まれる2、3年前のことになるが——私は毎日新聞論説委員から筑波大学教員に転職、着任と同時に「筑波大学新聞」の世話役をするようになった。

それから10年余り。講義「筑波大学新聞」の編集

大学を超えた多くの出会い

中田絢子・元本紙編集長

学生生活の事件・事故にスポーツ、大学の取り組み——、3年間で書いた記事は1000本以上です。学内・学外を問わず、取材で出会った人も200人を超えます。

中でも印象的だったのは、2年生の秋に取材した宿舎のマスターキー紛失事件です。友人からのメールで第一報を聞きつけ、警察より早く現場に駆けつけました。

3年生の5月には、被害学生10人以上、被害総額100万円以上のものほった、2件の連続借付詐欺事件を、一面大きく報じました。

3カ月以上事件を追いかけて、ついに容疑者の電話番号と住所を入手しました。ラグビー部の友人を用心棒にして取材に行くか迷っ



やゼミのかたち、学生諸君と新聞づくりに苦楽を共にした。その間、数え切れないほどの学生・教員・職員の方々の協力を得て、発展途上にあった筑波大学のキャンパス紙として、それなりの役割を果たすことができたのではないかと思っている。

筑波大学が「国立大学法人」として再スタートした現在、「筑波大学新聞」は大学内の、そして大学と社会を結ぶコミュニケーションの場として、ますます期待されていると思う。それだけに編集部としての仕事の達成感は大々かになっていくと思われ。

年に8回の発行とはいえ、新聞づくりにかなりのハードなのは、コンピュータ化が進んだいまでも、たぶん変わっていないはずだ。

「元現代語・現代文化学系教授」

大学新聞編集室へようこそ!



【原稿チェック】
編集長・副編集長が原稿をチェックし、推敲していきます。場合によっては再取材も。

【原稿執筆】
取材した情報を基に原稿を執筆します。記者の一大仕事!

【割付②】
①でレイアウトした通りに「インデザイン」というソフトで紙面を組みます。

【取材・写真撮影】
編集会議で決まった企画、記事について各自取材を進めます。話を聞いて質問したり写真を撮ったり、内容はさまざま。

【割付①】
実寸大の紙で新聞のレイアウトを決めていきます。

【取材依頼】
教授やスポーツ連盟などに電話、FAX、メールなどで連絡を取ります。

直される側も真剣です。

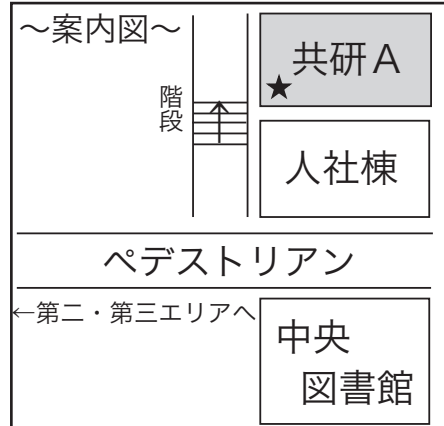
ただ「楽しい」だけじゃない。

魅力的な取材相手との出会い
やりがいのある仕事
共に成長していく仲間

急募 学年・所属不問
マスコミに興味がある人はもちろん……
・パソコンに強い人
・スポーツ取材をしたい人
・科学ジャーナリスト!理系!
……などなど
君の個性をここで生かそう!

場所 共同研究棟 A104
編集会議 毎週月曜午後6時半～
TEL: 029-853-6699
e-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
WEB版: http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/website/

新人記者募集



学生の快適な大学生活は、数多くの人に支えられて成り立っている。陰に日なたに、学生のために日夜働いている人たちが。そんな裏方たちの日常と、学生への思いを探った。(本紙・藤井沙織II社会学類、齋藤龍太II比較文化学類、水田武人II日本語・日本文化学類、篠崎真希II国際総合学類、小笹諒介II体育専門学群)

警備会社 ライジングガン

紺色の制服を身にまとい、今日も学内の安全に目を光らせているのは、本学を守り続けて6年になるライジングガン(本社II東京・渋谷区)の50人の警備員たちだ。

警備員の1日は朝6時から始まる。学内の教室の鍵を開けて回り、自転車の整理をしながら登校してきた学生にあいさつをする。24時間体制で学内を見回り、夜にはまた施設のために学内を忙しく歩き回る。学内の鍵をすべて閉めるには手



管理する鍵の本数707本 子犬を引き取る隊員も

「安全を確認すると、ほっとした変化にも違和感を感じると話す。胸をなでおろすと話す。パトカー、自転車、徒歩

「安全を確認すると、ほっとした変化にも違和感を感じると話す。胸をなでおろすと話す。パトカー、自転車、徒歩

平砂食堂

平砂兵用棟1階にある平砂食堂の朝は、ビュッフェ形式の朝食から始まる。開店の朝8時になると、朝練を終えた運動部の男子学生や宿舎に住む学生などで食堂がいっぱいになる。平日に昼食、夕食を提供するのはもちろん、土日も営業しているのは、一人暮らしの学生にとって強い味方だ。多いときには一日200人が利用する。

平日の朝8時から9時まで実施している朝食サービスでは、ご飯とみそ汁を1人1皿ずつ提供している。だが、2、3回お代わりをする学生もいるという。松井さんは「おかずや小鉢は経費がかかるため、一人一皿を守ってほしい」と話す。

利用者の中には、みそ汁の具だけでご飯を食べる学生や、うどんのみそ汁をいっしょに食べる学生もいる。通常の半額程度で、「ミニサイズ」の小鉢やサラダなども提供しており、女性客に好評だ。揚げ物や魚、肉でボリュームが多いため、野菜も増やして栄養バランスに配慮することも欠かさない。



運動部向け ボリューム重視 アンケートでサービス向上

学生の要望を知るために、年に1回、2学期にアンケートを実施している。それを踏まえて春季休業日には空閒レイアウトを提案、メニューも見やすくし、明るいイメージに改装した。

今月はスプリングフェアも実施する。4月13日には、利用者にミニケーキを1個サービスする予定だ。「今後

小田倉輪店 追越支店

「学生と話していると若返った気分になるんです」と追越の自転車屋のオバチャンこと小田倉白子さんは嬉しそうに話す。

小田倉輪店の追越共用棟支店は、1992年に開店した。小田倉さんは開店したころから一人支店を切り盛りしている。それ以前は、公務員として市内の研究所で事務の仕事をしていて、家庭の事情で自転車屋を手伝うようになったという。

「学生と話していると若返った気分になるんです」と追越の自転車屋のオバチャンこと小田倉白子さんは嬉しそうに話す。

小田倉輪店の追越共用棟支店は、1992年に開店した。小田倉さんは開店したころから一人支店を切り盛りしている。それ以前は、公務員として市内の研究所で事務の仕事をしていて、家庭の事情で自転車屋を手伝うようになったという。



「本学生の足」を直し14年 学生との会話も楽しみに

「本学生の足」を直し14年、学生との会話も楽しみに。小田倉さんは「うちで売った自転車が修理になると少し悲しい」と話す。「世界で一つだけの自分の自転車に愛着を持って、大切に使うのはいい」と話す。

小田倉さんは「うちで売った自転車が修理になると少し悲しい」と話す。「世界で一つだけの自分の自転車に愛着を持って、大切に使うのはいい」と話す。

附属図書館

「開かれた図書館」がコンセプトの附属図書館は、昨年3月、新たな図書システムを導入した。その一つが「くまびりポッド」だ。学位論文や研究報告書など、印刷媒体で提供されてきた研究成果を、著作権の許諾の取れたものから電子化し、学内外問わず誰もが簡単に閲覧できるようにした。本学の研究成果を広く世界に発信することが目的だ。

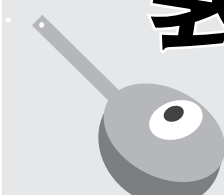
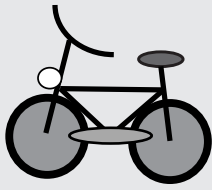
「開かれた図書館」がコンセプトの附属図書館は、昨年3月、新たな図書システムを導入した。その一つが「くまびりポッド」だ。学位論文や研究報告書など、印刷媒体で提供されてきた研究成果を、著作権の許諾の取れたものから電子化し、学内外問わず誰もが簡単に閲覧できるようにした。本学の研究成果を広く世界に発信することが目的だ。



世界へ向けて進む電子化 附属図書館の進化支える

「図書館のサービスを利用者にとってわかりやすく使いやすいものにする」と山本さん。98年に電子図書館システムが導入されて以来、情報化に伴って図書館の利用方法も進化を続けている。

陰に、日なたに—— 学生生活を支える 裏方たち



清掃員



本学キャンパスは260ヘクタールもの広さを誇る。この構内で、約1500人の清掃員が日々モップを片手に、学生が快適な大学生活を送れるよう、宿舎や学系棟の掃除を行っている。

朝6時の追越宿舎。居住者がまだ眠っているころに、清掃員の一人、西本清美さんの一日が始まる。ごみ集積所4カ所分のごみ袋を大きな袋に詰め、集積車が来るように運ぶ。その後、宿舎の廊下の掃除、捕食室のごみ出しなどを進行する。

西本さんはもともボイラー技師だった。定年後も65歳まで嘱託で働いた。「健康な間は元気に働きたい」と、8年前から清掃業務に携わっている。つくば市二ノ宮の自宅から自転車で行く道20分かかる。

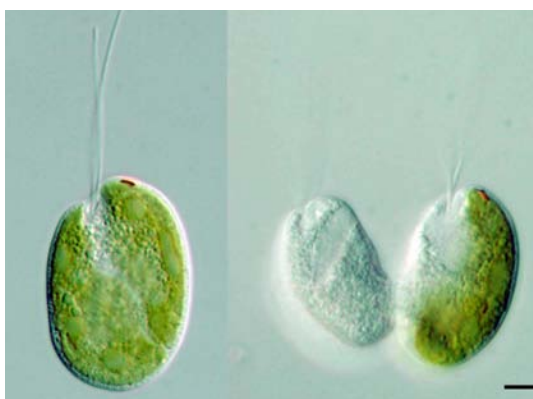
「初めて宿舎に来た時はびっくりした。老後の収入源として、清掃員の多くは50歳代から60歳代。清掃員になるには特に資格がいらないため、老後の収入源として、村では農業の機械化が進行している。」

「最初は、研究や勉強ばかりで生活の基本的なことまでできていない。学長は新入生にきちんと訓示するべき」と苦言を呈する。清掃員の多くは50歳代から60歳代。清掃員になるには特に資格がいらないため、老後の収入源として、村では農業の機械化が進行している。

汚い宿舎に苦言呈する

開学からのベテランも

「初めから60歳代。清掃員になるには特に資格がいらないため、老後の収入源として、村では農業の機械化が進行している。」



細胞分裂によって、植物的性格の細胞(右)と動物的性格の細胞(左)に分裂する(提供=岡本典子さん・メルボルン大学、井上勲教授)

大学の創造」と題されたこのメッセージボードには、本学の代表的研究が紹介されている。ロボットの「HALL」、新世代治療薬「エンドセリン」、そして不思議な生物「ハテナ」だ。

ハテナ 半藻半獣の不思議な生物 植物進化解き明かす鍵に

一方は植物的性格、もう一方は動物的性格の細胞に分裂するという特徴を持つ。植物進化の初期段階を解き明かす鍵として注目され、05年に発表された論文が米国の科学雑誌「サイエンス」に掲載された。植物は、「宿主」の生物が光合成を行う「生物」

生物(の)研究チームは、和歌山県沖の砂浜でハテナを採集した。ハテナは体長約30マイクロメートルで、鞭毛(べんもう)を使って動き回る鞭毛虫の一種だが、植物でも動物でもない単細胞生物だ。細胞分裂によって、

生物同士が、細胞の分裂を繰り返して、一つの生物となる。ハテナの場合、同調が不完全であるため、餌として捉えられた藻類は消化されずに残るが、分裂する際に片方にしか受け継がれない。もう一方は、無色の真核生物として、動物のように捕食型の生活をやり直すことになる。

井上教授はハテナの発見について「学問的には例えはシーラカンスの発見よりも大きな意味がある」と話す。なぜなら、ハテナの研究が進めば、その謎が解明できるかもしれない。



学内バス定期券 年間4200円 丸善で発売中

路線バスの特定区間を自由に乗り降りできる新学内交通システムで、学内構成員向けに販売されている今年度の定期券は、4月2日から来年の3月31日まで、学内の丸善で、学生4200円、教職員は8400円で販売している。昨年同様、1年を通じて価格に変動はない。

卒業生からの手紙

先日、雑誌「つばさ」の取材で、僕の大学時代の指導教官だった彫刻家・篠田守男先生と、丸2日間、筑波を小旅行(?)した。ジョイフル本田から筑波山の梅まで、たっぷり筑波名所をめぐり歩いた。この旅で驚いたのが、昔に比べてあきらかに筑波に人が増えたこと。かつてはまったく人通りがなかった「春日」の道路が渋滞している。人の話によると、交通事故も増えたという。



僕は1986年から1996年までの10年、筑波に住んでいた。当時の筑波の魅力はなんと、わりと誰もいない」とい

う、絶対的な孤独であった。孤独というのは、さみしい。ときにはその孤独に耐え切れなくて、自分の命を絶つ人もいる。だけれど反面、孤独は自分に向き合うための、最高の機会をくれる。それを証明するモデルを作り、作品化する。設計をする。当時はノートパソコンもなかった。デジタルもなかった。だから、一検索という安易な答えの見つけ方などなく、ただただ、自分の中から答えを見つけようとした。

今思えば、無人島に流れて着いた若者が、遊ぶ道

午後11時の終バスまでとし、10分間隔で1時間に6本のダイヤを組んでいる。訂正 本紙第259号特集面のHELLO!先端科学の記事に、「熱効率が90%を超える」とありますが、北村准教授によると通常40%とのこと。同特集面の杉本美香の記事に、「塚田には、昨年4月の皇后杯で判定負け」とありますが、全日本選抜選手権大会の誤りでした。

反射鏡

村社会でも

住めば都に

永田大輔(社会学2年)
「いほ……監獄?」宿舎を初めて見た人のおそろく8割以上は、これと同じことを考えたのではないだろうか。しかし、住めば都とは言うもので、ここに住み始めて1年が経とうとしている。相変わらず自炊はできないし、手狭ではある。しかし、今年も案外と楽しく宿舎生活を送れそうである。

さて、筑波大学の特徴は宿舎に象徴されるように良き友がアボなしで来たり

もする。「カフオケ」いや、ごせている気がするような俺明日二、三眼があるのですが……駄目ですか、そんなのかと聞かれたらあまりまあ、こんな感じでそれなりに楽しい大学生活を過ご



今月のテーマ 筑波生活の魅力

健康的な日々

澤田洋平(生物2年)

自分がつくばに来て、良かったと思えることはいろいろあります。例えば、筑波大学の周辺には、スーパーマーケットや洋服屋、本屋、コンビニやカフェもあっていて、ぜいたくさえしなければ生活には困りません。メディカルセンターや大学附属病院もあり、消防署も近くにあり、治安や交通マナーの悪いところでも、これなら安心です。また、筑波大生の多くは、宿舎や大学の近くのアパートに住んでいるため、知り合いに会うこともしばしばあります。井戸端会議など

離れて感じる宿舎のきずな

井上君子(社会学3年)

実家を離れて2年が過ぎようとしている。私がつくば生活の魅力だと感じていることは、人間関係が密であることだ。私は1年生の時、平砂宿舎に入居した。入居日に初めて部屋のドアを開けた瞬間、あざんとしたことを鮮明に覚えている。事務機とベッドがぼつんとあり、床のタイルははがれカビが生えていた。この部屋で1年間過ごすのか……と目の前が真っ暗になった。そんな私に、隣の部屋に入居した友達が掃除道具を貸して

留学生

イ・スンヨブ

日本に来てもう4年目。2年間の大学受験勉強の末、ちょうど5年の今、筑波大学からの合格通知を受け、東京から筑波大学に来て1年が経った。

投稿募集

次号のテーマは
外国語教育です

大学新聞では毎月「反射鏡」の投稿を受け付けています。設定したテーマに限らず、本紙への批評、そのほか、大学に関するさまざまな事象に対するご意見を、左記連絡先までお寄せください。学生、教職員の方々の多様なご意見をお待ちしております。

筑波時評

冷戦時代には米ソ対立によって機能不全に陥っていた国連は、ポスト冷戦時代において、「国際の平和と安全の維持」を実現できると期待されていた。事実、1991年の湾岸戦争では国際社会が団結してイラクの侵略行為に対して行動し、92年からカンボジアで大規模な平和維持活動(PKO)を展開し、国際秩序の維持に積極的な役割を果たしていった。

しかし、93年のソマリアにおける武力を伴う「平和強制」が失敗し、90年代の旧ユーゴ紛争では紛争を止めることが

国際連合 課題抱える国連運営 新事務総長への期待



鈴木一人

きなかった。湾岸戦争後の「石油と食糧の交換計画」ではアナン事務総長が関わる汚職スキャンダルが起るなど、国連に対する期待感は大きく低下している。それが決定的になったのは、現在まで続くイラク戦争の開始を止められなかったことだ。

そもそも日本では国連に対する期待が非常に大きい。ともすれば「世界結果であるし、コンボ紛争への介入でも中口の個別利害によって国連決議を得ないまま、武力行使が行われた。逆に、アメリカのイラク攻撃に対して、国連は何もできなかった。つまり国連は常任理事国が一致したときのみ、何らかの行動を取

る難民救済や、人権理事会などのさまざまな人権擁護の運動など、世界を少しでも良くしていくこととする活動の拠点であり、国際的な規範を作る場でもある。近年では、内戦状況など政府が市民の人権を保護できないような状況にある場合、国

キムン)は、どう取り仕切っていくのだろうか。彼は韓国の外交通商大臣として活躍した人物であるが、強い信念を持つ政治家というよりは調整能力の高い人物であり、大國から反対を受けなかったことから消去法的に事務総長になった人である。

過去の事務総長は大國、特にアメリカと対立することで期待された役割を果たすことができた。このように、国際的な価値規範を設定する場でありながら、大國の利益によって行動の限界がある国連を、新しく事務総長になった潘基文(潘・

去年初めて筑波大学に来て受けた印象は、正直に言って、単に東京に比べて田舎っぽく、あまり刺激のない広大な静かな印象の大学であった。言いかねないが、自分には刺激を受けてから頑張るタイプである。今思い起せば昨年1年生の時わざわざ刺激を受けるために週末はほとん



大学に誇りを持つ

スで、東京高等師範学校から受け継がれた名門国立大学である。05年にはつくばエクスプレスの開通で首都圏大学の仲間入りを受けた。また、世界

が、自分が今まで思っていたより相応しいレベルのイメージだということになった。

大学の4年間は私たちの人生や自己発展に大きな影響を与える。その意味で大学は学生たちが作っていくものである。つまり、筑波大生は筑波大学に十分に誇りを持って良いのだ。確かに筑波大学はそれくらいに底力のある多門国立大学である。学生たちが学校に対する誇りと愛着を持つことから学校は良い方向に向かって変化していくこと間違いはない。

(社会学2年・韓国)

連絡先
TEL 029-853-6969
e-mail shinbun@tsukuba.ac.jp

EU加盟のエストニア

留学で交流活発に

昨年1月に本学が交流協定を締結したエストニアのタリン大学のレイン・ラウド学長による講演会が2月7日、本学総合研究棟B棟A110教室において行われた。講演会には他大学の学生も含め70人ほどが集まった。

講演会は前半がエストニアのタリンの街とタリン大学について、後半はラウド学長による比較的近代化にも残されている一方、「東欧の経済の奇跡」と言われ、IT技術の発展が目覚ましい。現在世界中で使われているIP電話ソフト「skype」もエストニアで開発された。

今回の講演会は、昨年本学とバルト3国の各首都にある同大学、国立ラトビア大学(ラトビア共和国)、国立ヴィリニウス大学(リトニア共和国)の間で交流協定を締結したことに伴って開かれたもの。バルト3国への交換留学は今年4月から1年間、各大学との間で実施される。

ラウド学長講演会 歴史ある街タリンから



エストニアの文化、風土などを語るラウド学長

個性あふれる113作品

参加型の作品が人気

大学院の再編のため今年で最後となる芸術研究科修士制作展が、2月6-25日まで、芸術専門学群卒業制作展と併せて、つくば美術館(つくば市吾妻)で開催された。両制作展では、絵画、彫塑、書、グラフィックや工芸など計113点が展示された。約2000人が来場し、目で楽しみ、実際に手で触れ、操作するなどして作品を鑑賞した。

来場者の目を引いたのが、筑波大学芸術賞を受賞した、稲葉剛さんの「Sihouette」。スクリーンの前で風船やラグビーボールを上に放り、タイミングを合わせて特殊な投影機器でスクリーンにそのシルエットを映す。すると、映し出されたシルエットが動物の形になり、動き出すというのだ。芸術OBの男性は「面白い発想だ。応用性や発展性があるので」と語った。

また、生産デザイン分野専攻の卓間正博さんの「無意識的行動の特性に関する研究」に基づいた特殊なボールペンも人気を博した。ボールペンを指に挟んで回す動作、ペンを回す時の無意識の行動に合わせて、回しやすくなり、親指に挟んで折れ曲がるようにデザインされたペンを、来場者は夢中になっていじっていた。

芸術研究科長の玉川信一教授は「今年は質量ともに充実した修了展だった。大学院が再編される来年度以降も、よい作品を期待している」と語った。

優秀作品を顕彰する「筑波大学芸術賞」(若狭会賞)

学部の定員は5人で、申し込み先着順により決定する。人文社会科学研究科、地域研究研究所の大学院生および人文、日比、比文、自然、情報、園芸の学類生が対象となる。ウィリニウス大学については図書館情報メディア研究科と図書館学が対象となる。エストニアは「EUへの加盟により情報専門学群、情報学群知識情報・図書館学類(予定)の学生も対象となる。」

講演会の休憩中には、学長がラウド学長に積極的に質問する様子が見られた。高木大吾さん(人社2年)は「EUへの加盟によりエストニアがどう変わっていくのかに興味があり、留学も考えている」と話した。ラウド学長は「学生のみなでなく、研究プロジェクトの共有など研究者の交流も進めていきたい。静かで歴史のある街に留学したいならタリンに来てほしい」と語った。

「歌う生物学者」を招く

少子高齢化に警鐘鳴らす

東京工業大学教授の本川達雄氏を招いての人間学類主催特別講演会「生物学者からみた少子高齢化社会」が2月13日、2B棟412で開かれた。学生ら約200人が少子高齢化という、人間学類生に共通するテーマの講演に聞き入り、本川氏は「生命はめぐる」と「一生のうた」の2曲を披露し、「ネズミもゾウも心臓は15億回打って止まる」と歌った。生物の寿命観である「生命はめぐる」と心拍速度との関係から、ネズミの時間や「歌う生物学者」についても知られ、生物学者としての本川氏が「歌う生物学必修編」では高校生物の内容をすべて歌にしてCD3枚に収めた。今回の講演では少子高齢化について、生物学的な視点から講演を行った。

本川氏は「次世代の資源を消費している現代の人間は、生物学的なバランスを崩す存在となっている」と警告した。また、少子高齢社会について、自身の生命観である「生命はめぐる」と話した。



来場者は熱心に修了制作を鑑賞した(つくば美術館で)

「専門学群長賞」(芸術研究科長賞)の受賞者は次の通り。▼「筑波大学芸術賞」(若狭会賞) 稲葉剛(視覚伝達デザイン) ▲「茗溪会賞」 森本真依子(洋画) 村井美穂(構成) 金紋妹(構成) ▼「専門学群長賞」 鈴木木京(芸術学) 吉川ひろみ(版画) 三輪恵美理(彫塑) 小宮山碧(書) 磯田彩(総合造形) 山本涼子(クラフト) 上山礼子(情報デザイン) 岸本健(プロダクトデザイン) 前野逸美(環境デザイン) 須田牧子(建築デザイン) ▼「研究科長賞」 森田卓司(洋画) 岩淵朱音(日本画) 宮坂慎司(彫塑) 高橋佑太(書)

第8回彫塑展
本学生26人が展示
教育・学習・研究成果をそれぞれの立場から問うことを主眼に、毎年開催されている平成18年度「彫塑展」が3月2-7日まで、文化センターBxBビル(東京文京区)の2階BxBホールで開催された。卒業・修了研究作品を中心に、彫塑を専攻する学群、修士課程、博士課程の学生26人が作品を展示した。

第8回を迎えた今回は、教育プロジェクト支援経費で採択された「アートプロジェクト」プログラムの一環として、本学附属学校

の児童・生徒が制作した彫塑作品7点も合同展示された。3日には、「彫塑教育の今とこれから」と題したギヤラリートークが行われた。本学附属小・中・高等学校の児童・生徒や本学生合わせて16人が自分の作品を紹介した。また、各指導者が彫塑教育に関する取り組みについて語った。附属小・中学校の児童・生徒を含め約60人が参加し、実際に作品に手を触れながら意見を交換し合った。

東京・練馬区から来た夫婦は「同じポーズのモデルでも作る人によって表現がさまざま興味深かった」と話した。

柔道の祖 世界と対峙 嘉納治五郎師範に学ぶ

村田直樹著

私は柔道を教えている体育教師である。そして、少しは分かったつもりがで、きるかも知れないという理由で本書を選んだ。柔道といえはこの人に極まる。柔道の創始者にして日本スポーツ界の父・嘉納治五郎である。加えて本書の関係者ならば、本学の前身校である東京高等師範学校の校長として二十数年間にわたって師範教育に尽くした貢献も知っておかなければならないだろう。

本書は単なる柔道の本ではない。嘉納が説く「単なる武術や武道ではなく、文武を包含した大きな好の書」と言える。

本書の構成では、最初に柔道技術から精神の発展過程が語られるが、途中からは教育家として生きた嘉納の生涯に費やされている。教育を志向する人はこの辺から読んでみるのがいい。文は嘉納も有益だろう。文は嘉納(体育・教授)

香車亭龍鶴

初日に行われた予選で選手権策伝大賞が2月24-25日の両日、岐阜県岐阜市で行われた。本学落語研究会から2人が出場し、香車亭龍鶴(やりてりらさう)こと伊藤豪康さん(数物1年)が2年ぶりの2度目の決勝進出を果たし、敢闘賞を受賞した。

演目は伊藤さんのオリジナルの「不動産屋」。伊藤さんは今回の受賞について「桂三枝師匠、立川志の輔師匠ら審査員の見守るなか演じるのは緊張したが、学生らしさで評価してもらえたので」と話した。

伊藤さんは同選手権に第1回大会から毎年出場している。「将来は教師になって、落語で鍛えた話術で生徒に楽しく勉強を教えたい」と語った。

冬季欧州国際柔道大会

3人優勝 世界へ弾み

平岡、秋本、伊部に栄冠

全日本選抜へ向け好発進

今年9月にフランスのオリオンで開かれた世界選手権の選考基準となる冬季欧州国際柔道大会が1月27日〜3月4日にかけて、ヨーロッパ9カ国で開催された。本学からは5人が出場し、60キロ級の平岡拓晃(当時体専4年、66キロ級の秋本啓之(体専4年)が優勝。48キロ級では伊部尚子(同2年)が優勝、福見友子(同4年)が準優勝するなど、好成績を収めた。ベルギー大会に出場した藤田康恵(同2年)は2回戦で敗退した。



平岡拓晃



秋本啓之



伊部尚子

フランス大会に出場した平岡は、1、2回戦を一本で勝ち進んだ。接戦となった準決勝を効果一つでかわし、決勝に進出した。決勝ではナシユ(ロシア)と対戦。開始40秒、小内巻き込みで一本勝ちを収めた。平岡は「大会を日本代表への布石と捉え、絶対負けられない大会だった」という。「今回は自分の柔道がすすんで来た。野村忠宏(ミキハウス)を倒して代表になりたい」と、4月の全日本選抜への抱負を語った。

フランス大会に出場した秋本は2回戦、アジア大会で敗れたツァカンバタル(モンゴル)と対戦した。前回同様、変形の組み手で攻めてくる相手に対し、秋本は決め手を欠いたまま延長戦へ。その後相手に消極的であるとして指導が入り、秋本が優勢勝ちした。3回戦以降も勝ち進み、決勝ではクンハー(ブラジル)と対戦。得意の背負い投げから袈裟固めをかけ、合わせ技一本で優勝を収めた。試合内容について秋本は、「成績を残してほしかったが、内容はまだまだ攻めの気持ちが必要だ」と語った。4月の全日本選抜については、「66キロ級日本代表でも」気持ちはまだまだ挑戦者のつもりだ」と話した。

チェコ大会に出場した伊部は、決勝でドミトル(ルーマニア)と対戦した。試合序盤、技をかけたようにしたところを返されて効果を奪われたものの、その後大内刈りで立て続けに効果を2つとった。さらに大内刈りで技ありから押さえ込んで20秒、合わせ技一本で優勝した。伊部は昨年、ロシアでのジュニア大会で優勝して以来の海外大会での優勝。4月には産休から復帰する谷亮子(トヨタ)と1回戦で当たるが、「練習あるのみ」と前向きに語った。ドイツ大会に出場した福見は、決勝でパエト(フランス)と対戦した。「調子はあまりよくなかった」という福見。延長戦までもつれ込み、大内刈りで効果を奪われ、優勢負けした。アビールの場で負けたことと悔しそうに語った。

第21回サッカーフェスティバル

今季へ向け27大学集結

本学から5チームが参加

全国から27大学が参加する第21回全国大学対抗サッカーフェスティバルが3月13〜21日の9日間、本学のサッカー場で開催された。大会期間中には計110試合が行われた。本学からは5チームが参加した。本大会は雪で冬の閉ラ

今回の試合は4月から始まるシーズンに向けてチームの仕上がりを試す機会でもある。今シーズンから主将としてチームを引っ張る今田傑(体専4年)は、目立つプレーは多くないが、攻守にわたって監督が信頼を寄せている。両サイドの麻生耕平(同4年)、西川優大(同3年)は攻撃的サイドバックで、サイドアタックが持ち味のチームで重要な役割を担う。

浅井武監督(体育・准教授)は「チーム全体の仕上がりがそろそろ順調。攻撃はまだ課題が残る」と話した。



金沢大と本学との対戦。期間中は好天に恵まれた

記録ファイル

◆第48回日本短水路選手水泳競技大会(3月3〜4日、東京辰巳国際水泳場) 【男子】▽1500メートル自由形11分33秒3 西尾裕樹(体専2年) 15分14秒83▽50メートル自由形11分44秒50 山田翔平(同4年) 22秒51▽50メートル平泳ぎ11分06秒 岡崎晃一郎(同3年) 27秒72 【女子】▽50メートル自由形11分06秒 水落夏海25秒73(同3年)

顔

村松瑞穂(体専4年)にとって、バドミントンには、単にオリンピックの高みへと向かうためのものではない。バドミントンは、自分自身を人間的にも成長させてくれること、バドミントンへの情熱を語る。

「三洋電機のような」と強い人がいるとあくまで前向きだ。一度負けただけにはビデオを見て研究するなど負けず嫌いな面も持つ。

V・チャレンジリーグ

サンガイア初参戦で4位



バレーボールの国内最高峰、V・プレミアリーグの下部リーグであるV・チャレンジリーグが、1月13日〜3月25日にかけて、つくばカピオ(つくば市竹園)などで開催された。本学のBと現役生で作る男子プロバレーボールチーム「つくばユニテッドサンガイア」は、2、3位と勝率で並ぶ4位で最終戦を迎えたが、2位の東京ヴェルディに敗れ、4位に終わった。サンガイアは1月13日から始まったV・チャレンジ

リーグに初参戦した。初戦を白星で飾ったものの、序盤で3連敗。その後ミスを減らし、3月18日の試合までに9連勝、つくばでのホームゲームを迎えた。3月24日は、13勝1敗ですでに優勝を決めていたFC東京との戦いだった。第1セットを19-25で落としたが、三上圭治郎(当時体専4年)がアタックをいくつも決め、第2セットを25-21で奪った。第3、第4セットは30点を越える接戦となった。「少しのミスが出て競り合いに負けた」と都



首位のチームを相手に熱戦を繰り広げた(対FC東京戦で)

沢凡夫監督(体育・教授)は、「第3セットを29-31、第4セットを31-33で落とし、1-3で敗れた。入れ替え戦進出をかけた東京ヴェルディとの最終戦では、前日の敗戦が響いた。第1セットを17-25で落とし、第2セットを26-28、第3セットを23-25と粘ったが一歩及ばず、0-3でストレート負けした。都沢監督は「勝った方が2位になるというプレッシャーから、セッターに負担がかかってしまった」と話した。サンガイアは、スポーツを通じ、地域貢献活動を展開する「つくばユニテッド」(代表：秋原武久教授・体育)を母体とする事業の一つ。ホームゲームでは、つくばユニテッドバレーボールのジュニアチームの子どもたちを中心に応援も盛り上がりを見せた。都沢監督は今リーグについて「チーム力がどのくらい伸びたかがポイント。来年は十分な練習を積み、V・プレミアリーグ入りを目指す」と話した。

本学初のプロボクサー

八木剛志さん(自然)デビュー

八木剛志さん(当時自然4年)がプロボクサーとして、ライト級からデビューした。デビュー戦は3月5日、後楽園ホール(東京・文京区)での、ゴールデンチャイルドカップ前座戦の初戦。財政経多(トクホン真闘ジム所属)と対戦し、惜しくもTKO負けした。デビュー戦では第一ラウンド、出合い頭に相手のパンチを受けてダウンを取られたが、第三ラウンドではポイントとなるパンチを立続けに決めた。第三ラウンドで相手のパンチを受け、体勢を崩したものの、体勢を立て直し反撃した。しかし、レフェリーが早々に

八木さんは本学硬式野球部に所属していたが、退部して03年1月にヤマガチ土浦ボクシングジム(土浦市)に入り、トレーニングを始めた。「もともとボクシングに興味があった。ジムに入った時からプロを意識していた」という八木さん。昨年11月30日に行われたプロテストでプロボクサーライセンスを取得した。卒業後、八木さんはアルバイトを続けながらトレーニングを続け、次戦に備えている。「1戦1戦確実に戦って成果を残したい」と語った。

夢の五輪 日本一を目指す



村松瑞穂(体専4年)

4月には春季リーグ戦が開幕する。「大学生最後のシーズン。モチベーションも高い」と話す。目標は日本一とインカレ団体3連覇だ。これらを成し遂げることで、「出場できたバドミントンをやめてもいい」という夢の五輪が見えてくる。村松瑞穂の夢実現へのシーズンが今、開幕する。(本紙・水田武人「日本語・日本文化学類」)



「人文って何?」一答えてあげましょ!まずプラトンが言うことには「……いやいや、人文科学ってのは歴史的にはルネサンスがきっかけで……」

人文

今年度、開学以来初の学群改組が行われた。その結果、これまでの7学群15学類から、9学群23学類の体制となった。

比文

新入生の皆さん、合格おめでとうございます。今年度の春より皆さんとお会いできるのを大変楽しみにして

社学

新入生の皆さんへ入学おめでとうございます。そして社会学類の1年生、社会学へようこそ。社会学類は

心理

心理学は人間の心を科学的に探求しようとする学問です。1・2年次で基礎的な心理学を学ぶと同時に

日日

「ひびく」は日本語・日本文化学類では、日本語教師を目指す人、教師を目指す人、企業に就職したい人などさまざまな人がいます。

国総

こんにちは、国際総合学類新入生歓迎委員長です。私たちは国際総合学類の特徴は、タテにもヨコにも家族

教育

教育学類では、教育学を構成するさまざまな領域のつながりを考え、教育学の総合性に対応して、「人間形成系列」「学校教育開発系列」「教育計画・設計

障害

障害科学類では、障害のある人に対する教育的・心理的・福祉的サポートを実践する専門職を目指す人は、専門知識はもちろんのこと、その具体的方法を現場で学ぶ、習得することが

生資

筑波大学には、さまざまな人がいます。パンコンが好きな人、テニスしかしていない人、農業をしている人、音楽にはまっている人、運動が大好きな人、勉強ばかりしている人、語彙の少ない人、飲んでばかりいる人、飲んでばかりいる人、飲み

数学

数学類では、高校で学んだ数学をさらに発展・深化させて、純粋数学から応用数学にいたる現代数学の理論の基礎について幅広い知識を習得することができま

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

生物

生物学は先人の努力や技術の進歩などによって、現在もともエキサイティングな学問の一つとなっており、人類にとっても重要な新発見が次々となされています。

化学

科学技術の進歩はめざましく、人類の発展を支えてきました。このため、化学の就職とつながっています。

物理

物理学類では、現代の物理学的な基本から最先端までを学ぶこととなります。対象となる自然現象の規模のスケールは、素粒子の極微の世界から、宇宙の広大な世界にまで及びます。

学類紹介

新生9学群23学類

地球

理学の基本から最先端までを学ぶこととなります。対象となる自然現象の規模のスケールは、素粒子の極微の世界から、宇宙の広大な世界にまで及びます。

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

地球

地球学類は大きく地球環境学専攻と地球進化学専攻に分かれています。地球環境学専攻では地球の大気圏、岩石圏、水圏にみられるさまざまな現象、および

自転車交通環境ワークショップ

筑波大改造

学内の自転車交通環境の改善を目指した「自転車交通環境ワークショップ」が3月9日、第一エリアの小食堂で開催された。「施設計画室自転車交通環境ワーキンググループ」(座長 石田東生教授、社マ)のメンバーらと、渡和由准教授(芸術)が担当している「デザイン基礎実習」を履修中の芸術専門学群1年生約30人が参加した。当日は、施設部や関係者、学生らがサロンドイッチなどの軽食を楽しみながら意見を交換した。

渡和由准教授によれば、ペダストリアンでは自転車の交通量が多すぎるといふ。また、「高低差のある大学の構造自体が不便であり、駐輪場以外の場所に駐輪するといった学生のマナーの悪さや、自転車と歩行者の接

触事故も問題」と話す。ワークショップでは、ペダストリアンにおける自転車や駐輪場の問題の解決を図るべく、通学経路の調査や駐輪場の検討を行った。今回のワークショップでは、2月5日に行った前回のワークショップの結果を踏まえて、芸術専門学群の学生が、マスタープラン、照明、バス停、駐輪場、サイン、ランドスケープの6班に分かれ、ブレインストーミングやプレゼンテーションを行った。

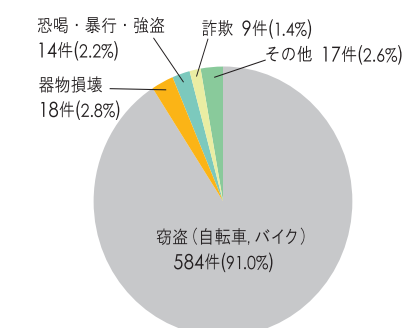
渡和由准教授は「今回のワークショップでは、1年生がユーザーの立場で柔軟で実効性のあるアイデアを出してくれた。今回出た提案をもとに今後は全学生に交通

ペダストリアンを快適に 芸専の学生30人が参加

なると暗くて時刻表が見えにくく、待ち時間の快適さにも欠けているという問題があった。バス停では、実際に木の枝でベンチを囲み、暖かそうな雰囲気作りを試みた。

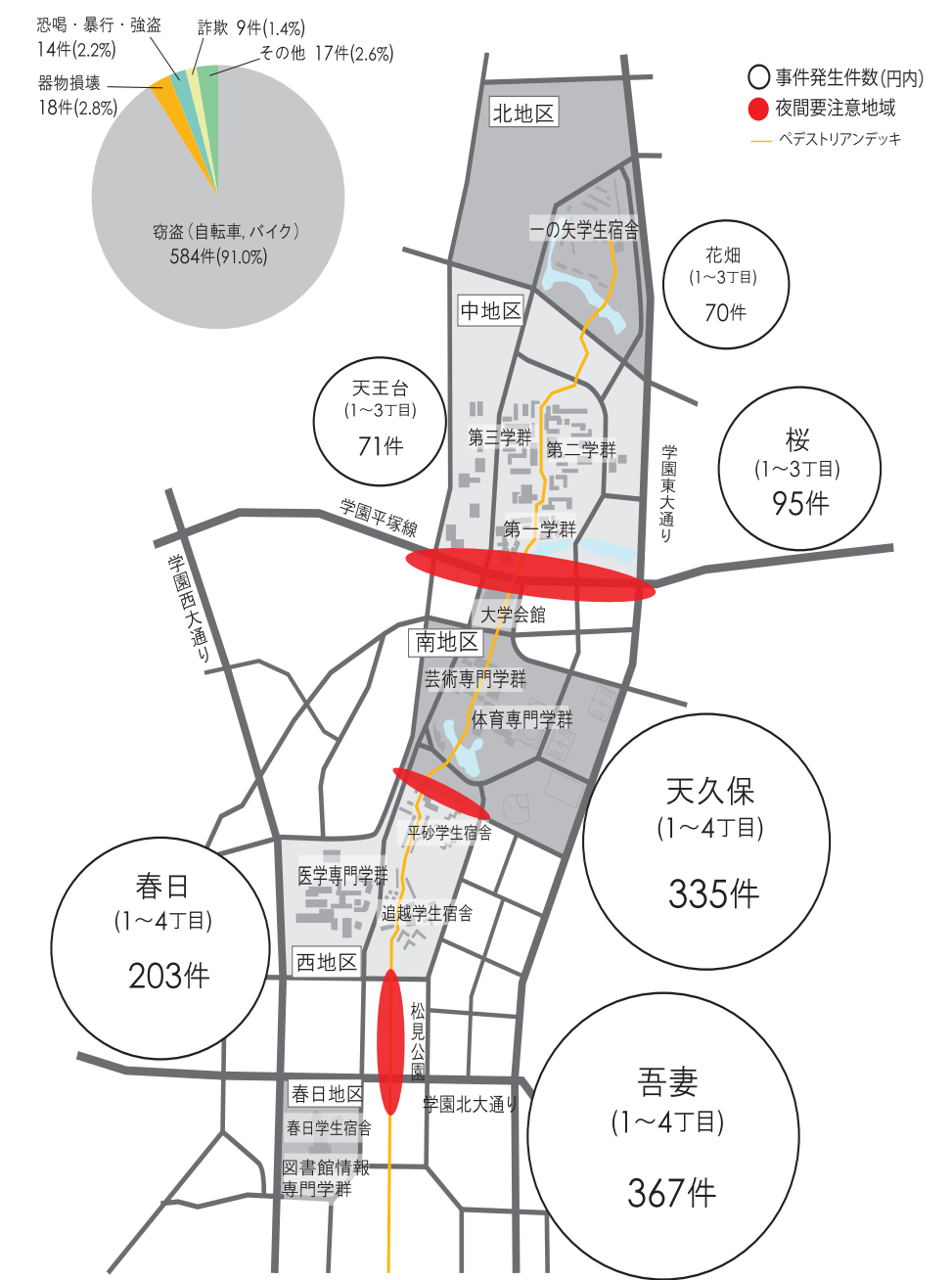
筑波大生が被害にあった事件数

平成17年10月～平成18年9月



本学周辺地域における事件発生状況

平成17年7月～平成18年6月



危険地域を一目で把握
ハザードマップ作成
ロックが重要 自転車と窓

学内と大学周辺での防犯、安全対策を考えるセンター前となっている。昨年度のハザードマップに比べ件数が大幅に増えているのは窃盗被害件数も反映させたため。被害の約9割が自転車、バイクなどの乗り物盗となつている。

学生生活課の土子昇専門職員は「自転車盗を防ぐために、防犯登録(500円)や二重ロックを徹底してほしい」と注意を呼びかける。空き巣などの侵入経路としては、窓から75%を占める。窓に二重ロックをするなど侵入を防ぐことが重要だ。



2月14日に行われたパフォーマンス(第三エリア前)

「桐葉」衣替えし再出発

今年度のワークショップで、石田教授がペダストリアンではなく、ループ道路に自転車走らせる案を提示している。現在、ループ道路に自転車専用道をつけることで、歩行者や自転車に安全で快適な移動を

「2つあると、いい」というキャッチコピーが流行したのは数年前だったろうか。せっかくなら多い方がいいと思うのは人間の性である。そこで今回は、大抵に気がついた。

人々との関わりは成長の機会が自由押しである。私はいろいろな福祉系のサークルで重要な役職を任せてもらえたり、そのつながりで全国の市民活動の会議に参加させてもらえたり、企業の人と一緒に面白い企画を練ったり、普通に暮らしていたら会えない人たちと交流を深めることができた。そして、そういった中で自分自身が成長していくのが、とても楽しかった。

「3倍楽しめる」大学生活

「福祉・地域活動系のサークルには面白そうな活動をしている人がたくさんいる。大学生活を3倍楽しむ人たちに聞かれた私は、実は3倍以上大学生活を楽しんでいるのかもしれない。福祉やボランティア」といった面白い言葉に

屋内プール 一般開放を中止

学生、教職員へのプール開放が、安全管理の見直しのため、今年2月をもって中止された。今後は体育の授業や課外活動でのみ使用が認められる。プールの開放は、水、金曜日の週3日、午後5時から1時間半程度行われていた。

前年度まで、開放時の監視はライフセービング部員らによる学生アルバイトが行っていた。秋原武久・前体育センター長(体育・教授)は「専門家でない学生アルバイトが、緊急事態に対応できるのか」と安全対策への不安を語る。

大学側もプールの安全対策について、積極的に動き

今年度も暗証番号制で 宿舎入棟

静脈認証 テスト振るわず 認証率など課題残る

昨年10月から施設部が行ってきた静脈認証システムのテスト運用についての結果がまとまった。認証プログラムの修正などを繰り返したが、最終的に認証率は85%にとどまった。3月8日に全代会を交えて話し合いを行った結果、「認証されづらい人がどうしても発生し、それに対する完全なフォローを行うことは困難である」として、今年度も現行の暗証番号制で運用していくことが決まった。

テスト運用は施設部棟の玄関に認証機を設置し、施設部職員が朝夕の出退勤時に照合する形で、実日数94日間にわたって行われた。初期システムでテスト運用された最初の約1カ月間では、認証率が42・3%だった。その後、認証機を段階的に覆って遮光対策を施したり、認証プログラムの改良などを行った結果、認証率が向上した。しかし施設部が目標としていた「ほぼ100%の認証率」には及ばず、認証されづらい人も発生した。

この結果を踏まえて学生部、施設部、全代会、高橋健夫副学長(学生生活担当)を交えて話し合いが3月8日に行われた。その結果、認証されづらい人や、夜間に外に閉め出された人へのフォローを24時間体制で行った場合、予算などの負担があまりに大きいとして、今年度の全棟運用は見送られた。

今年度の運用計画としては、基本的に暗証番号制での運用を行い、希望者に対しては、静脈認証システムの登録を受け付ける。トラブルなどに対するフォローは、一昨年の全棟運用時と同様、玄関に設置された電話で係員がいつでも駆けつけられる体制で行うという。

施設企画課の神矢良知課長補佐は「宅配業者が玄関に入れないなど、課題は残されている」と語った。

静脈認証システムは04年の12月に、セフティプロジェクト(リーダー)吉武博通副学長、総務・企画担当の部員が、練習中に意識を



学長から表彰を受ける黒田さん(学長室で)

学長表彰 看護学生と講師が受賞 サークル部員の命救う

本学屋内プールの水中で意識を失った筑波マリンダイビングクラブの部員を助けたとして、3月1日、黒田さん(看護4年)と伊藤講師(臨床)が学長表彰を受けた。

今年1月10日、同クラブの部員が、練習中に意識を

失うという事故が起きた。その時現場に居合わせた黒田さんは、伊藤講師と共に気道の確保を行い、同部員を助した。伊藤講師が救急車を手配する間も、気道確保を続け、水を吐き出させるなど、救急隊員が到着するまで懸命な救助活動を行った。

黒田さんは2000年から6年間、看護師として勤務した経験を持つ。その間も、飛行機の中で熱性けいれんを起こした子どもの心臓処置を行うなど、緊急事態への対処は慣れてきた。また、ダイビングの経験も豊富で、東京大学のダイビングサークルで指導を行っていたこともある。昨年4月には、筑波マリンダイビングクラブを見学に訪れていた。黒田さんは「マリンダイビングクラブの活動が無事再開でき、事故にあった部員の方も元気になって良かった」と語った。表彰については、「人として当たり前のことをしただけ。喜びよりも恐れ多いという気持ちの方が強かった」と謙虚に受け止めている。

伊藤講師も「表彰は光栄だが、病院搬送後、適切な治療を施してくれた医療スタッフにも感謝したい」と喜びを表した。

舞踏研究会

舞踏研究会は1975年に出来た、部員数117人のサークルだ。毎週水曜日と金曜日の2回、課外活動練習施設で活動している。彼らがやっている競技ダンスは、一般的に社交ダンスとして知られているものだ。

舞踏研究会の部員には、社交ダンスを業として始めた人が多い。「最初は鏡に映った自分の踊る姿を見るのも恥ずかしかった」と言う部員もいる。しかし、続けているうちにダンスの魅力に引き込まれていくのだと



見せるダンスを目指して

4月20日には大学会館のレストランでダンスパーティーが開かれる。「実際に見て、かっこいいと思うことがスタートなので、新歓イベントで踊っているのを見てほしい」と真壁さんは言う。(本紙・篠崎真希II国際総合学類)

「試合ではダンスを業として踊る人を見てみたい」という部員もいる。しかし、練習によって姿勢を維持できる体を作っていく。

「試合ではダンスを業として踊る人を見てみたい」という部員もいる。しかし、練習によって姿勢を維持できる体を作っていく。

ジャーナリズム講座 講師にOB・OG記者 報道の最前線から学ぶ

本学のジャーナリズム教育の流れを後輩に伝えようと、今年度より3年間ジャーナリズム講座が開講される。オムニバス形式で、毎回、マスコミの第一線で活躍するOB・OGが授業を行う。全学対象で、学期完結型の科目として、社会学類開設の専門科目に位置づけられる。

本講座の講師は、87年に、新聞記者出身の教員、故・青木彰先生が、マスコミ志望の学生のために開いた。その流れは、天野勝文先生(元現代語・現代文化学系教授)の天野子良、濱降先生(元現公教授)の濱

野は、テレビ、出版、新聞など多岐にわたる。例えば1学期の授業では、朝日新聞横浜支局の菊地功さんが「事件報道の現在」というテーマで、デジタルコンテンツ局CS事業部の柴崎敦子さんが「テレビ制作の現在と多メディア化」という

一步足を踏み入れるとそこは異世界だった。ドアを開けると溢れ出るワルツの音楽。自身の体の隅々まで神経を行きわたらせ、部員たちは普段とは違う真剣な顔を見せる。

練習ではひたすら先輩に指摘されたポイントを繰り返す。姿勢や体重移動などを細かいことまで意識して、一つ一つ動きを体で覚えていく。音楽のカウントに体の動きを合わせるなど、どれも日常ではすることのない動きだ。

「2年生の9月に先輩の話合いでパートナーが固定される。ダンスは2人一つのものをつくるもので、自分の代わりはいない。パートナーの価値観の共有や相性も重要になる。試合中に他のペアとぶつかり、男子部員が脳しんとうを起こしながらも決勝まで進んだというエピソードも、部員が背負う責任感や熱意を感じさせる。

一昨年は、夏と冬の全日本学生競技ダンス選手権大会で団体2連覇という成績を収めた。しかし、昨年は夏の大会で6位、冬の大会では早稲田大学に1点差で敗れ2位と悔しい思いをした。今年、目標は全国大会で優勝することだ。

ミニティーを大事にした安全確保へ向けて、今後もしっかりしていきたい」と語った。

「ミニティーを大事にした安全確保へ向けて、今後もしっかりしていきたい」と語った。

「ミニティーを大事にした安全確保へ向けて、今後もしっかりしていきたい」と語った。

を運用していた各宿舎棟では、認証機の破損や、電源が無断で切られるなどの事件が発生していた。

全代会は、昨年、暗証番号制での運用が開始されたことから、暗証番号制での統一を求め、大学側に要望

全代会は、昨年、暗証番号制での運用が開始されたことから、暗証番号制での統一を求め、大学側に要望

無料でダウンロードできるようにする予定だ。同ソフトは、03年7月に、登さんが本学情報学類のベンチャー企業「ソフトイサー」(本社つくば市、資本金2000万円)が4月1日、インターネッソフ「Packeetix」を、自社ホームページ上で公表した。半年間は

「ソフトイサー」
新ソフトを公表
登大遊さん(CS1年)が代表取締役を務める本学発のベンチャー企業「ソフトイサー」(本社つくば市、資本金2000万円)が4月1日、インターネッソフ「Packeetix」を、自社ホームページ上で公表した。半年間は

第33回やどかり祭

模擬店募集 27日まで

第33回やどかり祭(宿舍祭)が5月25、26日に開催される...

今年も、酒類の販売は同委員会の専売とする。問い合わせは...

健康診断・体力測定 指定日にもれなく

07年度の学生健康診断が4月12-24日に行われる。指定された日時に...

健康診断

特別研究学生、科目等履修生は、各々が所属する研究科・学類の指定された日時に...

体力測定

5月7-11日にかけて共通体育の授業時間内に屋内体力測定が総合体育館と球技体育館で行われる。

「つくば芸術祭」開催

5月3-6日にかけて、筑波大学芸術系サークル連合会によるつくば芸術祭が開催される。

次号は

5月14日(月) 発行予定です

Who's Who?



剣道部のフランス人留学生

ジュビン・アントアン

さん (体専2年)

剣道部のフランス人留学生、ジュビン・アントアンさん(体専2年)が入試の面接で最近読んだ本として挙げたのは、『五輪書』だった。

サムライ魂抱き来日 武道の聖地 筑波で修行

クリストファー・ヤン選手(98-99年本学在籍)も、剣道を始めたきっかけはマンガ『五輪書』だった。

「筑波」に憧れたという。「対人競技は強い相手や指導者がいないと強くない」。本場日本に来てやりたいという思いは昔からあった。

「つくば芸術祭」開催... 5月3-6日にかけて、筑波大学芸術系サークル連合会によるつくば芸術祭が開催される。

大学会館書籍部ベストセラー

Table with 2 columns: Rank (1-10) and Book Title/Author/Publisher.

3月の1位は、本学出身の青山七恵さんの第136回芥川賞受賞作『ひとり日和』。

新歓 催事

◆「日本を覚えてみませんか?」第12回天上大風会、津軽三味線倶楽部無絃塾など計12団体によるライブが行われる。

展覧会

◆第8回立体地形の世界 4月15日まで、国土地理院「地図と測量の科学館」で入館無料。9日は休館。

筑波自然図鑑



日本で越冬する冬鳥で、春先までよく見られる。茶色い頭の中央が黄色く染まっているのが雄の特徴だ。